

ベール セミスタティックロープ 取扱説明書

使い方

● タイプA：ケーピング、レスキュー、ロープアクセスワーク（ロープを使用する高所作業）のために設計されたロープです。ロープアクセスワークにおいては、他の器具と併用して作業現場間を移動したり、ワークポジショニングのためにテンションを掛けたりぶら下がったりするのに使います。

● タイプB：タイプAより性能水準が劣ります。摩耗や切断、通常の消耗に対して細心の注意を払って下さい。また墜落の可能性を極力減らして下さい。

● 定められた用途以外の使い方は絶対にしないで下さい。

● 洞窟調査、ロープアクセスワーク、高所作業、救助／安全のためのロープフィックス作業において、フリークライミングの必要がある場合には、EN892に適合したダイナミックロープを使用して下さい。落下係数1以上の墜落のおそれがある場合には、セミスタティックロープを絶対に使わないで下さい。

● セーフティーシステム（使用者の安全を確保するシステム）を作る場合には、使用者と同じ高さか、それより高い位置に信頼できるアンカーポイントが必要です。また、使用者とアンカーポイントを繋ぐロープから、たるみを完全に取って下さい。

● セーフティーチーン（ハーネス、カラビナ、スリング、アンカー、確保器、下降器など、墜落を制動するためのシステムの総称）を構成する道具は、ヨーロッパ規格に適合したものを使用して下さい。また、それらの道具をセーフティーチーンやセーフティーシステムの一環として使う場合の限界について、完全な知識が必要です。

● フォールアレスター等の機械的作動機構を持つ器具と併用する場合は、ロープの直径や性能がその器具に適合していることを事前に確認して下さい。

● ハーネスへの接続はエイトノットを使ってしっかりと結び付けて下さい。

● 少しでも墜落のおそれがある場合には、カラビナを介してロープをハーネスに接続しないで下さい。

● ロープの末端処理にはエイトノットを用い、結び目から最低10cmの末端を出して下さい。この方法以外の末端処理を行う場合は、事前にベール社に問い合わせ、書面による許可を得て下さい。

● 本製品を使い始めてから破棄するまでの間、十分な技術があり、本製品の使用履歴を把握している使用者のみが使用して下さい。

使用上の注意

● ロープを使い始める前に、ロープ全体を水で満らしてゆっくりと乾燥させて下さい。これによりロープは5%ほど収縮します。必要な長さを見積もる時は、この収縮分を考慮にいれて下さい。できればこの時点ではまだロープを解かないでいて下さい。

● 初めて使用する時は、汚れやキンクを防ぐためにイラストの手順で解いて下さい。

● 銛利な岩角や器具からロープを保護して下さい。

● 複数のロープを同じカラビナやシャックルに通すと、お互いが擦れて発熱し断壊するおそれがあります。● 高速のアブセイリングやロワーダウンは、ロープを傷め外被の寿命を縮めるので行わないで下さい。場合によっては外被の温度がポリアミド繊維の融解温度である230°Cを越えてしまうことがあります。

● 下降器やその他の器具にバリやえぐれが無いことを点検して下さい。

● 潟れたり凍ったりしたロープは磨耗に弱くなり強度が低下します。十分に予防措置をして下さい。

● 80°C以下の環境下で使用、保管して下さい。

● 使用前と使用中には救助が困難になる場合があることを考慮に入れて下さい。

● 本製品を安全に使用するために、使用者は健康維持と体力維持に努めて下さい。

手入れとメンテナンス

● 化学薬品をロープに近づけないで下さい。特に酸性の薬品は、たとえ目視できる症状が無くとも、ナイロン繊維を破壊するおそれがあります。洗剤や塗料をロープに使う場合は、事前テストをする必要があります。

● 紫外線に長時間晒さないで下さい。直射日光の当たらない、涼しくて乾燥した場所に保管して下さい。またヒーター等の熱源から離して保管して下さい。

● 持ち運んだり地面に広げる時は、汚れや捻れを防ぐためにロープバッグを使用して下さい。

● ロープの汚れがひどい時は、きれいな冷水を使って洗って下さい。必要ならばデリケートな衣類用の洗剤を使い、化繊ブラシで汚れを落として下さい。消毒にはロープ繊維に影響しない成分を使って下さい。

● ロープを濡らしたり水洗いした後は涼しくて乾燥した場所に陰干して下さい。

● ロープの使用前後は、ダメージを受けていないか全体に渡って点検して下さい。目で見るだけでなく、手で触って確かめて下さい。

● 適任者による入念な定期点検を行って下さい。使用頻度が高い場合で3ヶ月に1回、使用頻度が低い場合で1年に1回が目安です。

● 装備記録：本取扱説明書の18ページは、個別番号、購入日、使用開始日、定期点検日、使用者などの情報を記録するのに利用できます。

● メーカーによる書面の許可を受けることなく、本製品に修理／変更を加えないで下さい。全ての修理はメーカーの指示に従い、厳密に行う必要があります。

● ロープは個人で使用する道具です。絶対に他人に貸したりしないで下さい。あなたの目の届かない場所で使われたロープは、たとえ目視できる症状が無くとも、損傷を受けているおそれがあるからです。

寿命

● 寿命 = 使い始めまでの保管期間 + 使い始めてからの期間

● 使い始めてからの寿命は使用頻度と使い方に左右されます。

● 摩耗、紫外線、湿度はロープの性能を徐々に低下させます。

● 注意：使用によってロープは太くなり、最大で10%短くなります。

● 保管期間：良好な保管環境では、ロープを使い始めるまでに5年が経過していても、その後の製品寿命に影響しません。

● 平均的な寿命

- 激しい使い方で毎日使用した場合：6ヶ月

- 通常の使い方で毎日使用した場合：1年

- 激しい使い方で毎週使用した場合：1年

- 通常の使い方で毎週使用した場合：2年

- 通常の使い方で定期的に使用した場合：3年

- 通常の使い方で年数回使用した場合：5年

- 軽い使い方で非常に稀に使った場合：10年

警告：上記の寿命は平均的なもので、最初の1回の使用で寿命を迎えることがあります。点検によって早く処分すべきかどうかを判断して下さい。また、長持ちさせるために正しく保管して下さい。使い始めたロープを10年以上使うことはできません。ロープの最大寿命（使い始めるまでの保管期間+使い始めてからの期間）は最大15年です。

● 下記の場合、直ちに使用を止めて破棄して下さい。

- 墜落を受け止めた場合

- 点検によって芯に傷みが見られた場合

- 外被が非常に摩耗している場合

- 化学薬品に触れてしまった場合

- 安全性に少しでも不安を感じている場合

警告

● この取扱説明書に挙げられている指示に従って使用して下さい。

● この取扱説明書において全ての誤用例を紹介しているわけではありません。実際には数え切れないほど多数の誤用例があり、その全てを紹介することはできないからです。

● 洞窟調査、ロープアクセスワーク、アブセイリング、チヨリアントラバースは死亡や重傷を負う可能性のある危険な活動です。

● 本製品を使用するためには特別な知識と訓練が必要です。

● 本製品の使用者は、事前に適切な技術と安全対策を習得しなければなりません。また、本製品の使用によって起こりうる全ての危険と損害について使用者が責任を負います。

● 十分な技術を持った適任者のみが本製品を使用して下さい。また本製品は、適任者によって直接管理されなければなりません。

● これらの警告を守らなかった場合、死亡や重傷を負うおそれがあります。

● 中古品は絶対に使用しないで下さい。

● あなたは自分自身の行為と決定について責任を負います。

● 使用者の安全のために、本製品には日本語による取扱説明書が添付されています。

性能を表す略語の意味

タイプ：タイプA、Bいずれのロープかを表します。

Ø：ロープ径

F：静的伸び率

F8：エイトノットで結んだときの強度

N：落下係数1での耐墜落回数

IF：衝撃荷重（落下係数0.3）

E：伸び率（50kg/150kg）

SS：外被のすれ

M：1mあたりの重量

SP：外被のバーセンテージ

C：芯のバーセンテージ

R：水中での収縮率

MAT：材質

PA：ポリアミド PPTH：アラミド

PP：ポリプロピレン PET：ポリエチレン

PEHP：ダイニーマ

MATS：外被の材質 MATC：芯の材質

MATIS：中間外被の材質

TF：アラミド繊維が分解する温度

TFC：芯が溶解する温度

BN：バッチナンバー

マーキングの意味

CE：ヨーロッパ規格に適合。

0120：認証機関番号。認証機関はSGS 217-221 London Road-Camberley-Surrey-GU15 3EY-United Kingdom

シリアルナンバー：下2桁の数字が製造年を表します。

A10.5：10.5mm径のタイプAロープ。

B9.0：9.0mm径のタイプBロープ。

EN1891/1998：規格番号と発効年。

CE 製品試験の認証機関：

CETE APAVE SUDEUROPE-BP 193-13322 MARSEILLE Cedex-France, no 0082

3年間保証

品質もしくは製造上の欠陥が見つかった場合、ご購入日から3年間、無償で交換いたします。ただし下記の場合は保証の対象外となります：通常の摩耗、改造や修正を加えた場合、不適切な保管・手入れ不足・事故・不注意・不適切な使い方等によって生じた損傷

免責

直接的、間接的、偶発的を問わず、本製品を使用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ベール社は責任を負いません。

